

## 秋季の品質に優れるカーネーションスタンダード系赤色品種「ジミー」

カーネーションは、関西市場においてスタンダード系の赤色品種の需要が多い。しかし、近年の夏季の高温により秋季に茎が軟弱になる傾向が強く、この問題を克服できる品種が求められている。淡路農業技術センターでの品種比較試験の結果「ジミー」が秋の1番花が硬く優れていることが分かった。

### 内容

カーネーションは品種の移り変わりが早く、生産者の関心も高い。当センターでは、ヨーロッパ等で新規に育成されたものなど毎年100以上の品種を試作し、本県での栽培適応性を調査している。

今回は特に、関西市場で需要の多いスタンダード系の赤色品種において、秋季の茎の硬さに着目して品種の選定を行った。ガラス温室において、2011年と2012年7月初旬にそれぞれ定植し、翌年5月末までの収量（切り花本数）、品質（茎下垂指数、がく割れ率）を調査した。

秋季に収穫される1番花（1次側枝）を調査した結果、「ジミー」（カネコ種苗）が茎の硬さを示す茎下垂指数が1.8と、基準品種「エクセリア」の2.4、「ノラ」の4.0と比較して小さく、秋季から非常に硬い花を得られた。また、収量面においても、全期間を通じて8.7本/株と、目標とする7.4本/株（坪あたり515本）を上回っていた。全期間を通じ、がく割れ率は基準品種の「ノラ」が6.5%、

表「ジミー」と基準品種の収量性と品質の比較(2012年結果)

| 品種            | 開花始め   | 収量<br>(本/株) | 秋季茎下垂指数*<br>(1~4) | がく割れ(%) |
|---------------|--------|-------------|-------------------|---------|
| ジミー           | 10月4日  | 8.7         | 1.8               | 0.0     |
| ノラ(基準品種:ピンク)  | 10月29日 | 7.8         | 4.0               | 6.5     |
| エクセリア(基準品種:赤) | 10月4日  | 12.9        | 2.4               | 0.6     |

\* 茎下垂指数：切り花の先端から45cmの位置で水平に保ち、支点と花を結ぶ角度を数値化（1:10°未満，2:10～20°未満，3:20～30°未満，4:30°以上）

「エクセリア」が0.6%であったが、「ジミー」では0%であった（表）。

淡路では2012年から「ジミー」の生産が開始された。当初は6,000株ほどの定植本数であったが、品質が優れていることから2014年には約67,000株の定植本数で（図）、出荷量は50万本程度（推定）と、淡路で栽培される赤系スタンダード品種の出荷量第3位※となっている。

※淡路日の出農協共撰部会において

### 今後の方針

当センターでは新品种等の比較試験の状況を、毎年12月初旬に生産者に公開し、情報提供している。このことが生産者の品種選定に貢献しているものと考えられる。今後は、需要側の多様化する要望にこたえられるように継続して品種比較試験を実施する予定である。

東浦 優（淡路 農業部）

（問い合わせ先 電話：0799-42-4880）

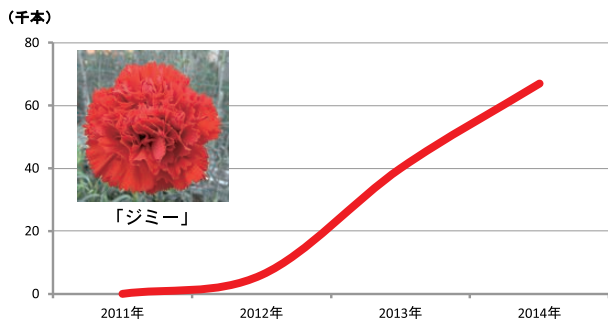


図 淡路への「ジミー」苗出荷数量（カネコ種苗調べ）